

2019 年度 事業報告書

(2019 年 12 月 1 日 から 2020 年 11 月 30 日 まで)

公益財団法人ノエビアグリーン財団

I 法人の概況

1. 設立年月日

2013 年 3 月 21 日

2. 定款に定める目的

この法人は、環境及びスポーツ並びに児童・青少年の健全な育成に関する事業を行い、地球環境の保全及びスポーツの普及と発展並びに未来を担う児童・青少年の育成を通じ、豊かな社会の形成に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 環境活動の普及と啓蒙
- (2) 環境活動団体及びスポーツ団体等への助成
- (3) 各種スポーツの普及と選手育成の支援
- (4) 児童・青少年の健全育成支援
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区銀座七丁目 6 番 15 号

5. 役員等に関する事項（2020 年 11 月 30 日時点）

※五十音順

役職	氏名	現職
代表理事	赤川 正志	(株)ノエビアホールディングス 顧問
理 事	植松 泰右	(株)トーヨーアサノ 代表取締役社長
理 事	大倉 俊	(株)ノエビアホールディングス 代表取締役社長
理 事	金ヶ崎 絵美	十条王子法律事務所 弁護士
理 事	島田 亨	(株)USEN-NEXT HOLDINGS 取締役副社長 COO
理 事	野口 健	アルピニスト
監 事	佐藤 陽一郎	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員、理事長、税理士
監 事	本田 親彦	公認会計士
評議員	白石 康次郎	プロセーラー 海洋冒険家
評議員	竹内 洋岳	プロ登山家 立正大学客員教授
評議員	橋本 真	(株)ノエビアホールディングス 執行役員 人事部門 統括責任役員
評議員	浜崎 濠次郎	NPO 法人 マリンプレイス東京 理事長
評議員	吉田 一幸	(株)ノエビアホールディングス 取締役 経営企画、広報・IR 部門 統括責任役員

II 事業の状況

1. 事業の実施概況

(1) 児童、青少年の健全育成支援事業

1) 助成事業

日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、心身ともに健全な青少年の育成に寄与することを目的として、一般公募による助成活動を実施しています。

<対象>

- ・児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体。
- ・将来、世界大会やオリンピック、パラリンピック出場等を目指すアマチュアスポーツ選手（18歳以下）。

<選考結果>

2019年度は、総応募件数 257 件（団体 148 件、個人 109 件）の中から、77 件（団体 42 件、個人 35 件）に対し、助成金を交付いたしました。

【団体 42 件】

NO.	団体名	事業内容
1	特定非営利活動法人 絵本カーニバル (東京都) ※今回で 3 回目の採択	長期入院、通院している子供たちを対象に、病院にて絵本の展示とワークショップなどを実施
2	特定非営利活動法人 オーシャンゲート ジャパン (大阪府) ※今回で 3 回目の採択	障がいのある児童・青少年を対象に、心身の健全な育成や自然環境保全の意識向上を図るため、「学び」「感じ」「気づく」海洋スポーツ・プログラムを実施
3	一般社団法人 シッティングスポーツ協会 (茨城県) ※今回で 2 回目の採択	障がいがある子供たちが、家族や友人と一緒に車いすバスケットボールを楽しめる体験会を実施
4	(学生団体) 福島大学災害 ボランティアセンター (福島県) ※今回で 2 回目の採択	冬休み期間中に、全国から子供たちを募集し、福島県内で 3 泊 4 日の交流会を実施
5	特定非営利活動法人 SET (岩手県)	気仙管内の中高生を対象に、交流を通してさまざまな将来の選択肢を知り、主体的に活動する機会を創るため、大学生と中高生とのキャリア教育イベント実施
6	公益財団法人 ブルーシー・アンド・ グリーンランド財団 (東京都) ※今回で 2 回目の採択	児童養護施設の子供たちを対象に、カヌーや SUP などのマリンスポーツ体験、「水辺の安全教育」を実施

7	社会福祉法人 星美ホーム (東京都) ※今回で2回目の採択	虐待などにより、心に傷をもつ子供たちに「乗り越える力」につなげるための野外活動を実施
8	特定非営利活動法人 イーはとーぶ スポーツクラブ (岩手県) ※今回で2回目の採択	障がいのある子供たちを対象に、冬季スポーツを楽しみ、パラアスリートを目指す子供たちを育てる事業を実施
9	特定非営利活動法人 響愛学園 (愛知県)	聴覚トレーニング機器と多様な楽器を音楽レッスンに取り入れることで、障がい児に充実した機能訓練と楽器演奏指導を行う事業を実施
10	特定非営利活動法人 チャリティーサンタ (東京都)	原発事故の影響により屋外で安心して遊ぶことができない子供たちを対象に、自然体験や地域交流の場を提供
11	一般社団法人 日本車いす バスケットボール連盟 (東京都)	障がいのある児童・生徒を対象にジュニア選手の発掘と育成を目的とし、車いすバスケットボールの基礎の習得、並びに普及活動を実施
12	特定非営利活動法人 フードバンク 北九州ライフアゲイン (福岡県) ※今回で2回目の採択	「成功体験」を重ね自己肯定感を育むため、子供たち主体で職人と一緒に取り組む家作りや米作り体験を実施。また幼少期養育の重要性啓発のシンポジウム開催
13	特定非営利活動法人 真ごころ (千葉県) ※今回で2回目の採択	障がいのある子供たちへの運動療育として、放課後等デイサービス事業を実施
14	ARTS for HOPE (東京都)	障がい児が力を合わせたアートリノベーションを通じて、自分たちの手で環境を変える驚きや喜びを体験し、豊かな感性を育む創造体験プロジェクトと展覧会を開催
15	特定非営利活動法人 チャイルド・ケモ・ハウス (兵庫県) ※今回で2回目の採択	重い病気の子供たちの心に寄り添うオリジナル絵本づくり事業を実施
16	特定非営利活動法人 障害者アクアレッシン ミラクルスイミー (秋田県) ※今回で2回目の採択	障がい児・者に対するマンツーマン、グループ、選手クラスでのアクアレッシンを通して、心身の健全な育成と積極的な社会参加への推進を図る事業を実施
17	特定非営利活動法人 産の森学舎 (福岡県)	0歳から対象の参加型コンサートと、小学生対象の1泊2日の音楽合宿を通して、子供たちの豊かで想像力あふれる育ちを支援

18	北上機械鉄工業協同組合 (岩手県) ※今回で2回目の採択	東日本大震災の被災地で暮らす子供たちと内陸部の子供たちが、ものづくり体験や郷土芸能発表を通じて相互理解と心の絆を深め合う事業を実施
19	福井市自然体験 交流推進協議会 (福井県)	原発事故の影響により満足に外で遊べない子供たちを対象に、福井県の里山で1週間の野外活動を実施
20	特定非営利活動法人 夢創房室戸迎鯨の杜 (高知県)	スポーツをする機会が少ない障がい児・者に対し、ボッチャをはじめ取り組みやすいスポーツを紹介し、健康づくりの意識や社会参加への機会拡大を図る活動を実施
21	特定非営利活動法人 ウイズアイ (東京都)	不登校や引きこもりの子供たちの居場所づくりのほか、さまざまなサポート事業を実施
22	大阪市浪速区浪速地域・ 地域活動協議会 (大阪府)	課題のある地域の子供たちへの学習支援や子供食堂の運営のほか、学校や関係機関と連携した教育・子育て相談事業を実施
23	特定非営利活動法人 風 (静岡県)	富士山の湧水が流れる富士宮市潤井川にて地域の子供たちを中心に、環境保全活動・自然観察会を実施
24	一般社団法人 環境文化研究所 (福井県)	「地学で納得！自然災害で生きる防災力を身につけよう！」をテーマに、地学の自然体験で防災力を身に付ける事業を実施
25	九州小学生 バドミントン連盟 (佐賀県)	九州小学生バドミントン連盟強化事業として、九州8県の小学生選手を対象に、強化合宿などを定期的に開催
26	一般社団法人 ソーシャルブレンダー (埼玉県)	「音楽」を通じた子供たちの自己肯定感を養う"学童バンドプロジェクト"を実施
27	特定非営利活動法人 棚田 LOVER's (兵庫県)	子供たちの自然への理解促進や環境保全の意識向上を図ることを目的に、棚田を通じた自然体験活動を実施
28	宗像フェス CSR 推進実行委員会 (福岡県)	海洋マイクロプラスチックによる環境問題を背景に、日韓の学生により回収したプラスチックをリサイクルし、絵本にしてアジアの子供たちへプレゼントするプロジェクト

29	認定特定非営利活動法人 CPAO(シーパオ) (大阪府) ※今回で3回目の採択	基本的な生活がままならない子供たちを対象に、日常では経験できない自然体験や生活体験の機会を提供
30	特定非営利活動法人 キンダーフィルムフェスト・ きょうと (京都府)	世界から集めた、子供主演の作品を上映する映画祭の中で、運営準備を行う「子供スタッフ」、グランプリ作品を選出する「子供審査員」の活動を支援
31	あさひ子ども見守り ネットワーク (大阪府)	地域密着型の「高殿こども食堂 あのね」と登録制の子供の居場所「あのねくらぶ」の運営を通し、地域内で課題を抱えた子供たちをサポートする事業を実施
32	パラ・スポ in えべつ 実行委員会 (北海道)	障がい児に対する理解促進と誰もが住みやすい街づくりを目指し、市民参加型の障がい者スポーツ体験会を実施
33	特定非営利活動法人 カルチャーナイト北海道 (北海道) ※今回で2回目の採択	年に1回、市内の公共施設や文化施設、民間施設を夜間開放し、地域文化を楽しむ事業を実施
34	ミュージックケア ジュエル・ ボックス (和歌山県)	ダウン症を持つ子供とその家族を対象に、音楽に合わせて楽しく動きながら成功体験を積み重ねることができる集団音楽療法(ミュージック・ケア)を実施
35	特定非営利活動法人 京都子どもセンター (京都府)	原生林や生き物などの北海道の自然から、命の巡りや人と自然との関わり方について学び、考えることを目的としたキャンプ事業を実施
36	特定非営利活動法人 スペースゆう ともの会 (愛媛県)	ビーチクリーンで拾った海の漂着物を素材としたアート作品制作を通じて、海の環境問題について学び、ゴミのポイ捨てをしない心を育む事業を実施
37	社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団 児童養護施設すまいる (神奈川県)	在園の児童を対象とした普段の生活では経験できない活動プログラムによる2泊3日の宿泊体験を実施
38	特定非営利活動法人 子どものための救命教室 (茨城県)	「すべての子供たちに救命教育」という理念に基づき、幼保育園・小学校・地域の小さな団体への出張救命教室を実施
39	竹園土曜ひろば (茨城県)	子供の成長支援、多世代交流などを目的としたランチ交流会の開催と「子供食堂」と「無料学習塾」をつなぐネットワークの構築

40	一般社団法人 美馬森 Japan (宮城県) ※今回で2回目の採択	東松島市近隣の小学生を対象に、馬との触れあい体験や森での自由遊び、クラフト体験を実施
41	社会福祉法人 愛徳園 (和歌山県)	子供たちの悩みや孤独感を解消できるような居場所づくりとして子供食堂を運営
42	チーム「夢・希望・元気」 プロジェクト (栃木県)	東日本大震災の被災地相馬市の小学生を対象に、自然の中で思いっきり楽しめる体験を提供するとともに卒業生をジュニアリーダーとして育成する活動を実施

【個人 35 件】

* 申請時点の年齢

NO.	氏名	年齢※	競技種目
1	タケヤマ ユズハ 竹山 柚葉 (京都府)	15 歳	フェンシング
2	カジワラ ダイキ 梶原 大暉 (福岡県) ※今回で 2 回目の採択	18 歳	車いすバドミントン (パラスポーツ)
3	ナカガワ リュウ 中川 瑠 (大阪府)	15 歳	スポーツクライミング
4	ヤナギモト リノ 柳本 理乃 (愛知県) ※今回で 3 回目の採択	18 歳	フリースタイルスキー モーグル
5	イマニシ メイ 今西 愛依 (滋賀県) ※今回で 3 回目の採択	17 歳	カヌー スプリント
6	イマムラ サキ 今村 咲 (京都府) ※今回で 2 回目の採択	17 歳	硬式テニス
7	オオタ ナツ 太田 捺 (北海道)	12 歳	近代五種
8	サイトウ ショウタ 斎藤 彰太 (神奈川県)	14 歳	カヌー スラローム
9	スガワラ コウタ 菅原 紘汰 (秋田県)	18 歳	競泳 (パラスポーツ)
10	タカギ アオイ 高木 葵 (岐阜県) ※今回で 2 回目の採択	16 歳	ライフル射撃
11	ミナイ アキト 南井 瑛翔 (滋賀県)	17 歳	競泳 (パラスポーツ)
12	ミヤジマ リンゴ 宮嶋 林湖 (長野県)	16 歳	スキージャンプ

13	ヤマモリ コタロウ 山森 誇太郎 (大分県) ※今回で3回目の採択	17 歳	テコンドー
14	サトウ リキ 佐藤 利希 (千葉県) ※今回で2回目の採択	14 歳	サーフィン
15	キタノ アミサ 北野 安美紗 (奈良県) ※今回で2回目の採択	16 歳	競泳 (パラスポーツ)
16	オグラ チカ 小倉 千佳 (千葉県)	16 歳	競泳 (パラスポーツ)
17	サハラ ハルカ 佐原 春香 (千葉県)	16 歳	車いすテニス (パラスポーツ)
18	イワイ ソウタ 岩井 壯太 (滋賀県) ※今回で2回目の採択	16 歳	スタンドアップパドル(SUP) カヌー スプリント
19	エンドウ ホナツ 遠藤 帆夏 (滋賀県) ※今回で3回目の採択	17 歳	カヌー スプリント
20	オオシマ サクラ 大島 さくら (長野県)	17 歳	スノーボード
21	オカモト ルカ 岡本 留佳 (佐賀県)	13 歳	テコンドー
22	オダ トキト 小田 凱人 (愛知県)	13 歳	車いすテニス (パラスポーツ)
23	キウチ ヒョウガ 木内 彪凱 (静岡県)	14 歳	自転車 BMX レーシング
24	コアシ サクラ 小足 さくら (北海道)	18 歳	バイアスロン
25	コクボ マオ 小久保 真旺 (三重県) ※今回で2回目の採択	16 歳	フェンシング

26	コバヤシ ハルナ 小林 陽菜 (滋賀県)	14 歳	カヌー スプリント
27	ヒシダ ユアン 菱田 悠杏 (滋賀県)	16 歳	カヌー スプリント
28	フクダ カノン 福田 果音 (福岡県)	13 歳	競泳 (パラスポーツ)
29	ミヤグチ ヒロ 宮口 陽邑 (大阪府) ※今回で 2 回目の採択	16 歳	競泳 (パラスポーツ)
30	ワタナベ エレン 渡邊 愛蓮 (長野県)	16 歳	アルペンスキー
31	タカノ ショウゴ 高野 頌吾 (福岡県)	16 歳	車いすテニス (パラスポーツ)
32	アカイシ タイガ 赤石 泰雅 (北海道)	13 歳	トランボリン
33	クボシタ フミヤ 久保下 郁弥 (福岡県) ※今回で 2 回目の採択	17 歳	車いすテニス (パラスポーツ)
34	ウエガキ ココロ 上垣 こころ (東京都) ※今回で 2 回目の採択	14 歳	競泳
35	ナカガワモエ 中川 もえ (宮崎県)	16 歳	陸上トラック 短距離 (パラスポーツ)

2) スポーツ体験事業

近年、社会問題とされている子供のスポーツ離れによる心身の活力低下を背景に、子供たちのスポーツへの興味関心を高め、スポーツに親しむ子供たちを増やすことを目的としたスポーツ体験会を開催します。2019 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

(2)環境事業

1) 環境教室

自然体験などの実践を通じて、自然環境の保全と改善について子供たちとともに考え、意識向上を図ることを目的として、環境教室を実施します。2019年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、『山』・『海』・『空』・『島』をテーマとした集客型イベントを中止しましたが、臨時休校や外出制限を受けるなかでも子供たちの学びの機会を継続的に提供するため、自宅にしながら自然を学べる「未来につながる環境教室」Web 授業を開始しました。自然に携わる専門家などに講師として登場していただき、子供たちが自然の豊かさや大切さについて学べるよう公式 YouTube チャンネルにて配信しています。

配信内容は下記の通りです。

- 【第1回】[プロ登山家・竹内洋岳さんの「おうちで登山!？」](#)
- 【第2回】[プロ登山家・竹内洋岳さんの「おうちで米作り!？」田植えの準備編](#)
- 【第3回】[プロ登山家・竹内洋岳さんの「おうちで米作り!？」田植え編](#)
- 【第4回】[プロ登山家・竹内洋岳さんの「昆虫博士と虫探し！」](#)
- 【第5回】[プロ登山家・竹内洋岳さんの「田んぼの水源をたどる！」](#)
- 【第6回】[プロセーラー 海洋冒険家・白石康次郎さんの「世界の海を旅する！」](#)
- 【第7回】[プロ登山家・竹内洋岳さんの「おうちで米作り!？」稲刈り編](#)
- 【第8回】[プロ登山家・竹内洋岳さんの「焚き火を楽しむ！」](#)

2) 六甲山の森づくり事業

低木層の伐採やつる性植物の除去や植樹などの森の管理業務を行うことで、土砂災害を防ぐ役割の樹林帯を守り育てることを目的として、六甲山の森づくり事業を行います。2019年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

2. 役員会等に関する事項

実施年月日	理事会又は評議員会	議案内容
2020 年 1 月 17 日	理事会	1. 2018 年度（2018 年 12 月 1 日から 2019 年 11 月 30 日）事業報告書、計算書類、財産目録及び附属明細書承認の件 2. 任期満了に伴う選考委員改選の件 3. 理事候補者 1 名選任の件 4. 評議員候補者 1 名選任の件 5. 評議員会招集の件
2020 年 2 月 3 日	評議員会	1. 議事録署名人 1 名選出の件 2. 2018 年度（2018 年 12 月 1 日から 2019 年 11 月 30 日）事業報告書、計算書類、財産目録及び附属明細書承認の件 3. 評議員 1 名選任の件 4. 理事 1 名選任の件
2020 年 2 月 3 日	理事会	1. 代表理事選定の件
2020 年 11 月 16 日	理事会	1. 2019 年度（2019 年 12 月 1 日から 2020 年 11 月 30 日）事業計画書及び収支予算書の修正承認の件 2. 2020 年度（2020 年 12 月 1 日から 2021 年 11 月 30 日）事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み承認の件 3. 助成金交付規程の改定案承認の件 4. 職員就業規則の改定案承認の件 5. 職員給与規程の改定案承認の件 6. 評議員会目的事項提案（評議員会の決議の省略）の件
2020 年 11 月 25 日	評議員会	1. 2019 年度（2019 年 12 月 1 日から 2020 年 11 月 30 日）事業計画書及び収支予算書の修正承認の件 2. 2020 年度（2020 年 12 月 1 日から 2021 年 11 月 30 日）事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み承認の件

Ⅲ 法人の課題

・スポーツ体験事業および環境事業において、2019 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集客型イベントを中止にしましたが、2020 年度以降、感染症予防対策ガイドラインに基づき、集客型イベントを再開できるよう取り組んでまいります。

また、2019 年度環境事業にて開始した公式 YouTube チャンネルでの「Web 授業」は今後も継続し、子供たちが未来の自然について考えるきっかけになるような魅力的なコンテンツを配信してまいります。

・当財団および助成事業、スポーツ体験事業、環境事業の各事業の認知度向上のため、Facebook やInstagram、YouTube など SNS の活用を促進します。

また、2019 年度において、一定期間「ノエビア銀座本社」1F の展示スペースを賃借し、財団設立 7 周年を記念して、助成事業採択者のジュニアアスリートの写真を展示する「ノエビアグリーン財団写真展」を開催しました。2020 年度以降も継続して開催し、認知度向上に努めてまいります。